

発行 明石市議会 市民の会 〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1 丁目 5 番 1 号 明石市議会「市民の会」控室
Mail shiminakashi@gmail.com ※この市政だよりは、明石市議会「市民の会」政務活動費によって発行されています

兵庫県への要望を行いました

議員活動も一年半が経過。それぞれの分野で課題解決に取り組んできましたが、県の予算拡充も必至だと考え、**橋本県議(8月時点)を通じて兵庫県へ要望書を提出**しました。県政の混乱停滞の中でも、市民生活は待ったなしの状況。来年度の予算編成が本格化する前に明石市の切実な声を関係各所へ訴えました。

要望事項

- **所得制限のない18歳までの医療費無料化制度の創設に関する要望**
- **農業施策等に関する要望**
- **ひきこもり状態の不登校児童生徒への支援に関する要望**
- **福祉従事者・介護職員・福祉サービスに関する要望**
- **海岸整備とにぎわい創出に関する要望**



常任委員会視察で先進事例を研究

このたび、3つの常任委員会が他市の視察を実施。**先進事例の研究を通じ、明石市政に反映をしていきます。**報告書は、明石市議会HPで公開予定。総務常任委員会の視察は、11月に予定されています。



- **建設企業常任委員会** 7/22~7/24
 - 呉駅周辺地域総合開発事業について(広島県呉市)
 - Park-PFIの取組について(福岡県北九州市)
 - 上下水道の組織統合について(広島県尾道市)
- **生活文化常任委員会** 7/22~7/24
 - ゼロ・ウェイストの取組について(神奈川県逗子市)
 - 創業支援について、ビジネスサポートセンターについて(東京都墨田区)
- **文教厚生常任委員会** 7/30~8/1
 - 不登校児童支援事業について(東京都世田谷区)
 - 不登校児童支援事業について(茨城県つくば市)
 - 重層的支援体制整備事業について(愛知県稲沢市)

7月~9月の活動など



勉強会や協議会への参加を通じて理解を深める



一人ひとり丁寧に声を聞く活動も



大蔵海岸の釣糸ごみ問題解決へ



やさしいまちに向けて市民と対話 子どもたちの意見表明もサポート



「踏切内の通行幅改善を」という地域の声を受けて担当課と対応へ



インクルーシブビーチの政策実現



常任委員会視察では他市職員がレクチャー



他会派の若手議員と熟議に挑戦

9月本会議における「代表質問・一般質問」(抜粋)

中川 夏望 なかがわ なつみ 総務常任委員会所属

下記のほか、令和5年度決算や、放課後児童クラブの利用料減額の提案、ひとり親世帯のがん検診の無料化をしないか等の質問をしました。

子育て支援のさらなる拡充、市民栄誉賞の創設、健康寿命を延ばす取組について

中川からの質問要旨

- ①放課後児童クラブの入所申込書類を簡素化し、オンライン申請を可能としないか。
- ②上地結衣選手の金メダル獲得を受け、市民栄誉賞を創設しないか。
- ③胃がん早期発見を目的とした胃がん検診を実施しないか。



明石市の答弁要旨

- ①入所申込書類の精査やオンライン申請の課題を整理し、調査研究する。
- ②市長特別表彰を予定。市民栄誉賞は他市事例を調査研究する。
- ③現在の胃がんリスク検査を継続し、胃がん検診については検討。



パリパラリンピックにて金メダル獲得の上地結衣選手

山中 裕司 やまなか ゆうじ 生活文化常任委員会所属 (委員長)

高齢者の孤独死対策や、社会問題になっている「放置空き家」と「ごみ屋敷」の相談窓口設置、大蔵海岸公園の釣糸による鳥や動物の被害について質問しました。

ごみ屋敷問題の解消と釣糸ごみによる鳥や動物の被害について

山中からの質問要旨

ごみ屋敷が原因で近隣トラブルが起きている。住民の方が相談できる窓口を設置できないか。また大蔵海岸公園の釣糸被害をゼロにするために、放置される餌の掃除用デッキブラシを設置できないか。



明石市の答弁要旨

ごみ屋敷について総合的に相談できる窓口が必要だと考えている。他部局と連携して問題解決に向けて対応していく。大蔵海岸の釣糸ごみ問題についてもデッキブラシの設置に向けて検討していく。



ごみ屋敷問題について相談窓口の設置を提案

黒田 智子 くろだ ともこ 文教厚生常任委員会所属 (副委員長)

下記のほか、教育現場での児童生徒の困り感を見逃さない仕組みと個々に応じた支援、地域共生社会を前に進めるボランティアマッチングについて質問しました。

不登校支援について

黒田からの質問要旨

- ①子ども・保護者のニーズ調査をし、本市に合った支援のあり方を考える。
- ②校内フリースペースの全小中学校への設置とガイドラインの作成をしないか。
- ③ICTを活用し支援の選択肢を広げないか。



明石市の答弁要旨

- ①ニーズ調査は実施する。
- ②校内フリースペースは全小中学校へ設置する。ガイドラインも作る。
- ③ICTを活用した授業配信・個別授業・面談・デジタル教材等提供できることを子どもと保護者に周知する。



山手小学校の校内フリースペース

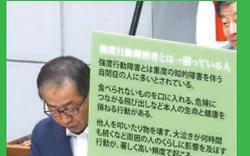
金尾 良信 かなお よしのぶ 生活文化常任委員会所属

強度行動障害の方の受け入れ先が限られており、住み慣れた地域で安心して暮らせる障害者支援については待った無しの状況。その改善を求めた質問をしました。

強度行動障害者対応グループホーム設置と専門的支援

金尾からの質問要旨

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、早急に強度行動障害者対応のグループホームの増設を。また専門的な支援ができる施設、事業所のバックアップ体制の構築について本市の見解を問う。



明石市の答弁要旨

強度行動障害のある方へ対応するグループホームの体制強化にかかる支援の検討と国の動向や先進的な事例も参考に専門的人材の確保、日中活動先なども含めた地域での支援体制の仕組みも検討していく。



パネルを使って強度行動障害者について説明

山下 祥 やました しょう 建設企業常任委員会所属

6月議会で丸谷市長が「世界一の海岸となるよう取組を進めたい」と答えた大蔵海岸について質問。下記のほか「移住者視点の子育て支援強化」等も提案しました。

誰もが安心して快適に楽しめる「豊かな海のまちづくり」について

山下からの質問要旨

- ①大蔵海岸の更衣室・トイレ・日陰のある場所等の整備を。
- ②市内の夜間花火禁止区域の時間適正化を。
- ③海に沈む夕陽を観光資源と捉えて「日本の夕陽百選」登録とシティプロモーションを。



明石市の答弁要旨

- ①早急に解決すべき課題。他市との差別化を図りながら計画的に取り組んでいきたい。
- ②夜間の海岸利用状況と他市の規制状況から検討。
- ③景観計画の改定も実行しながら観光資源としても活用したい。



海のまち明石の夕景は観光資源として価値化できるはず

9月議会では、昨年度決算をチェック!

令和5年度当初予算では、40億円の基金(市の貯金)の取り崩しが示されました。大きな赤字になる懸念もありましたが、**結果的には基金を取り崩すことなく、実質単年度収支は3,000万円の黒字に。**

しかし、今後は市役所新庁舎整備やごみ処理施設の建替、西明石エリア再開発など、多くの大規模プロジェクトが控えています。

令和7年3月には、市の財政をわかりやすく示した財政白書が公表される予定。

自分ごととして、私たち市民みんなで財政をチェックしていきましょう。



西明石地域交流センター icotto